

B. 教室連携事業

(様式1-1)

子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業 実施計画書

団体名	〇〇市実行委員会		
担当者氏名	文化 太郎		
所在地	(〒123-4567) 京都府〇〇市〇〇〇〇〇〇		
TEL	000-00-0000	/FAX	000-00-0000
E-mail	〇〇〇@×××.lg.jp		

1. 実施計画の名称	〇〇〇市伝統文化親子体験教室
2. 実施計画の期間	令和3年6月1日～令和4年3月30日
3. 実施計画の背景・目的	<p>※1 事業を実施するにあたっての背景や、本事業を通して解決したい地域課題等がわかるよう、具体的に記載してください</p> <p>※2 事業を実施するにあたっての工夫点や、活用する地域特性・地域資源など、具体的に記載してください</p> <p>※3 事業を実施することにより期待される効果などを記載してください</p> <p>(1)〇〇市の背景(法人団体の場合は団体区分・団体設立年月・団体の活動内容等記載) 当市では、平成〇〇年に××計画を策定するなど、地域の文化や歴史的建造物群を活かしたまちづくりを進めてきた。具体的には、地域の〇〇を活かし……………。</p> <p>当団体は、平成●●年▲月に設立された一般社団法人であり、★★分野の振興等を目的とした活動を実施してきた。具体的には平成●●年より全国で教室を開設し……………。</p> <p>(2)地域課題(法人団体の場合は、団体が振興等を目的としている伝統文化等に対する課題等記載) 過疎化や少子高齢化等により、地域の伝統芸能の担い手が不足し、地域の子供に継承していく機会が減少している状況にあり……………。</p> <p>当団体では★★分野の振興等を目的としているが、過疎化や少子高齢化等により、地域の伝統芸能の担い手が不足し、地域の子供に継承していく機会が減少している状況にあり……………。</p> <p>(3)事業を実施する上での工夫点や活用する地域特性・地域資源など 当市(団体)では、これまでから茶道体験教室や華道体験教室、郷土食作り体験教室など、地域の親子を対象とした様々な伝統文化を体験できる教室を実施してきた。今回はこれまで実施してきた体験教室に加え、地域の伝統芸能〇〇太鼓や△△△などを体験できる教室を、〇〇太鼓保存会の協力を得て……………。</p> <p>(4)本事業を実施することで期待される効果 体験教室において、子供たちが茶道や華道、地域の伝統芸能〇〇太鼓や△△△を体験する機会を提供することで、子供たちが地域に誇りを持つことが出来る。 また、ここで構築されるネットワークを次年度以降も継続していくために、半年に1回程度のネットワーク会議を〇〇市が主体となって実施予定。</p>
4. 対象とする伝統文化・生活文化・国民娯楽	<p>※B. 教室連携タイプの場合は各教室分記載してください</p> <p>茶道、華道、伝統芸能(〇〇太鼓、△△△)</p>

5. 実施事業の内容 ※必要に応じ枠の大きさは変更してよいが3ページ以内

※1 取組に係る内容や想定される効果など、具体的に記載してください

※2 教室実施型と連携して実施する場合、その団体名及び教室名を記載してください

※3 B. 地域連携タイプの場合、事務局で実施する事業と各教室で実施する事業に分けて記載してください。
各教室での実施事業は様式1-2別紙に記載してください。

<事務局実施事業>

伝統文化教室発表会

開催時期: 令和3年11月頃 1日間(予定)

■開催場所: ○○○市総合文化会館

■参加対象者及び参加予定者数: 市内在住の親子 200名

■内容

.....
.....

<教室実施事業>

別紙のとおり

6. 実施事業の体制(実行委員会等(事業実施者)の概要については別紙1のとおり)

※どのような体制で事業を行うか、具体的に記載してください。※特に地方公共団体との連携については詳しくご記入ください。

B. 教室連携事業の場合は教室を運営する各団体名、教室名を別紙に記載してください。

・市役所内での関係課との連携

△△市○○課や市教育委員会とも連携。事前の関係者連絡会議から参画予定。

・市内の関係団体との連携(教室実施団体は別紙2のとおり)

○○○茶道教室、△△△いけばな教室、.....

・参加団体によるネットワーク会議の開催

参加団体によるネットワーク会議を構築し、教室終了後に反省会と今後の市内の伝統文化等の現状について意見交換を実施する。

7. 実施事業の広報

※どのような広報活動を行うか、具体的に記載してください

・市広報誌による周知

・市内小学校へのチラシ配布

・市内の公民館、お店等へのチラシ配布

・SNS等を活用した広報活動

・団体所有のホームページでの広報活動、団体の会員へのお知らせの発送

実行委員会等（事業実施者）の概要

(ふりがな) 名称	〇〇〇〇市〇〇実行委員会		(ふりがな) 代表者職名・氏名	委員長 〇〇 〇〇
	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町1-1-1		電話番号	***-***-****
所在地			FAX番号	***-***-****
	実行委員会等設立年月① 令和〇〇 年 〇〇 月			
役員 ② 委員長 〇〇 〇〇 (〇〇獅子舞保存会会長) 副委員長 〇〇 〇〇 (〇〇市芸術文化協会) 監事 〇〇 〇〇 (〇〇市教育委員会〇〇課長) 会計 〇〇 〇〇 (〇〇市〇〇課長)			関連団体 ③ 〇〇獅子舞保存会 〇〇市観光協会 〇〇〇の会 〇〇新聞社	
設置目的 ④	(設置目的の概要) 協議会は、〇×市の文化をまちの誇りとして広く情報発信し、.....などにより後継者育成に取り組み、〇〇文化の発展.....伝統文化等の振興等を設置目的とする。 (事務局体制) 事務局（経理含む）は〇×市〇〇課内に置く。 ※協議会等及び構成団体の定款に類する規約並びに構成員・構成団体の名簿は別添のとおり			

※ 実行委員会等及び構成団体の定款に類する規約及び名簿を併せて提出すること。

- ① 設立した年月を記載してください。定款等に類する規約に基づき記載してください。
 - ② 代表者、役員、監査担当者、経理担当者、その他事務職員を記入してください。
監査担当者及び経理担当者は記入必須です。
 - ③ 実行委員会等の構成団体や補助事業実施にかかわる団体があれば記載してください。
 - ④ 設置目的を記載してください。別途提出する実行委員会及び構成団体の定款に類する規約と齟齬のないよう留意してください。
- ※公募期限までに実行委員会の設立が出来ない場合は、暫定組織として応募書類を提出し、詳細が決まり次第、正式版を提出してください。但し、採否の決定(令和3年4月上旬ごろ)までには、正式に設立されている必要があります。

B. 教室連携事業

(様式1-2 別紙2)

<教室実施事業一覧>

番号	教室名	実施団体	開催場所	開催日程	参加人数予定	実施内容
(例)	茶道教室	〇〇〇茶道教室	△△△公民館	10月、11月、12月 月1回程度	10人	10月:基本所作について 11月:道具の扱い方について 12月:……
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

8. 「5. 実施事業の内容」に以下の取組を含む場合、その内容

※1 該当する項目のみ記載してください ※2 必要に応じ枠の大きさは変更してよいが1ページ以内

(1) 伝統文化親子教室事業(教室実施型)の実施教室数が少ない地域での取組

※地域での伝統文化親子教室事業(教室実施型)の実施教室数の状況がわかるよう、具体的に記載してください

・当市の伝統文化親子教室事業(教室実施型)の教室数は、〇であり、特に△△地域については、伝統文化等を体験できる教室がないのが実情である。そのため、今回は△△地域の子供たちの体験機会充実を目的に実施する。

(2) 地域の特色ある生活文化等を活かした取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

・〇〇市の郷土芸能である□□について、地元の指導者と連携して技術だけでなく歴史や文化を学べる教室を実施

(3) 伝統文化親子教室事業(教室実施型)の講師等を活用した取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

・伝統文化親子教室事業(教室実施型)を平成19年度から実施している〇〇太鼓保存会の講師と連携して教室を実施

(4) キッズウィーク等の休日における体験機会の充実や共生社会実現のため障害者や高齢者等の参加を促進する内容を含む取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

・対面での教室に加え、ZOOMを活用したオンライン上での指導を実施

(5) 教員が伝統文化等について子供たちに効果的に伝えていくために必要な基本的な知識の習得や体験をする機会を設ける取組

※取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

(6) 実施する取組が地域の課題解決に資するような取組

※地域の課題や取組状況がわかるよう、具体的に記載してください

【収支予算書】(子供たちのための伝統文化の体験回復事業 B. 教室連携事業)

(様式1-4)

(収入の部)

(単位:円)

区 分	予定額	備 考
自己負担額	100,000	教室負担分
その他の収入	50,000	教室参加費
小 計	150,000	
支援金額	3,000,000	
合 計	3,150,000	

(支出の部)

(単位:円)

	費目	積算内訳	支出予定額	支援対象経費
教室 実施 経費	諸謝金	別紙のとおり	1,750,000	1,750,000
	旅費	別紙のとおり	320,000	320,000
	借損料	別紙のとおり	370,000	370,000
	消耗品費	別紙のとおり	230,000	80,000
	通信運搬費	別紙のとおり	67,000	67,000
	雑役務費	別紙のとおり	97,000	97,000
	保険料	別紙のとおり	36,000	36,000
	計		2,870,000	2,720,000
事務局 経費	人件費	書類整理 1,050円×4時間×1名×15日	63,000	63,000
	諸謝金			
	旅費	関係者連絡会議出席旅費 1,000円×5名	5,000	5,000
	借損料	会場使用料(文化会館)(発表会)	17,000	17,000
		会議室使用料(関係者連絡会議)	11,000	11,000
	消耗品費	会議用飲料(150円×5名)	750	750
	会議費			
	通信運搬費	チラシ郵送代(100か所)	30,000	30,000
	雑役務費	チラシ作成費(5,000枚)	80,250	80,250
		会場設営費(発表会)	53,000	53,000
	保険料	傷害保険代100円×200人	20,000	20,000
	再委託費			
計		280,000	280,000	
消費税相当額	※課税事業者のみ			
一般管理費				
事業実施経費計			3,150,000	3,000,000

※教室ごとの支援対象経費については(様式1-4別紙)に記載すること

B. 教室連携事業

(様式1-4 別紙)

通し 番号	都 道 府 県	市 町 村	教室名	収入の部				収入合計(I) (A+B+C)	支出の部(教室実施経費)							支出合計(II)
				自己 負担金 (A)	その他 収入 (B)	小計 (A+B)	支援金額 (C)		諸謝金	旅費	借損料	消耗品費	通信運搬費	雑役務費	保険料	
1	京都府	京都市	〇〇茶道教室	50,000 円	0 円	50,000 円	300,000 円	350,000 円	200,000 円	50,000 円	0 円	100,000 円	0 円	0 円	0 円	350,000 円
2	京都府	京都市	△△いけばな教室	30,000 円	0 円	30,000 円	200,000 円	230,000 円	100,000 円	50,000 円	30,000 円	0 円	0 円	40,000 円	10,000 円	230,000 円
3	京都府	京都市	◆◆太鼓教室	20,000 円	0 円	20,000 円	300,000 円	320,000 円	250,000 円	50,000 円	0 円	20,000 円	0 円	0 円	0 円	320,000 円
4	京都府	京都市	…	0 円	20,000 円	20,000 円	400,000 円	420,000 円	300,000 円	30,000 円	60,000 円	10,000 円	3,000 円	7,000 円	10,000 円	420,000 円
5	京都府	京都市	…	0 円	0 円	0 円	500,000 円	500,000 円	300,000 円	20,000 円	80,000 円	60,000 円	4,000 円	30,000 円	6,000 円	500,000 円
6	京都府	京都市	…	0 円	30,000 円	30,000 円	500,000 円	530,000 円	300,000 円	20,000 円	80,000 円	40,000 円	60,000 円	20,000 円	10,000 円	530,000 円
7	京都府	京都市	…	0 円	0 円	0 円	260,000 円	260,000 円	150,000 円	50,000 円	60,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	260,000 円
8	京都府	京都市	…	0 円	0 円	0 円	260,000 円	260,000 円	150,000 円	50,000 円	60,000 円	0 円	0 円	0 円	0 円	260,000 円
9				円	円	0 円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	0 円
10				円	円	0 円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	0 円
合 計				100,000 円	50,000 円	150,000 円	2,720,000 円	2,870,000 円	1,750,000 円	320,000 円	370,000 円	230,000 円	67,000 円	97,000 円	36,000 円	2,870,000 円

※ スペースが足りない場合は、行の幅を変更したり、ページを追加しても差し支えありません。

